

朝顔物語五編

國貞畫

13
3757
5



門 へ 13
巻 5
3757

何をどうも

ふむらう

お母んの

下のまに

東山老人化

二玉 玉貞画

錦森堂上梓



庭訓朝顔物語五編上巻



烏有先生京山は謂ていそく
殿下の作の州よりしありあつ
もこれを文句の中よをりく見
このものへ入るものもあるあつ
老筆のすゝもあつ
園字の大先生本居の初作
あつていそくよあつとむらび
あつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
たれが料ましとむらびの
このよあつていそくよあつとむらび
あつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび



おつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび
よあつていそくよあつとむらび

三

竹の母とていふもねる志あふんぶき
女もまきくちりるるよ

一

あつくこまお竹の母
きうせ
あを



四

あつくこまお竹の母
きうせ
あを

むすめ

む色竹の無が母
つる下女は

①男心
あつくこまお竹の母
きうせ
あを

細井竹の母

あつくこまお竹の母
きうせ
あを

菊井古の介

あつくこまお竹の母
きうせ
あを



あつくこまお竹の母
きうせ
あを

あつくこまお竹の母
きうせ
あを



竹の母

おひこ

④ おひこは...
 おひこの母は...
 竹の母は...
 竹の母は...
 竹の母は...
 竹の母は...
 竹の母は...
 竹の母は...
 竹の母は...



竹の母
あぶこ

② おひこの母は...
 おひこの母は...
 おひこの母は...
 おひこの母は...

おひこ

⑤ 四年...
 七年おひこの...
 おひこの母は...
 おひこの母は...
 おひこの母は...
 おひこの母は...
 おひこの母は...
 おひこの母は...



用紙

本文六段

かくてきく井六の女
多きうへえんけのあて
門せんいぞる時色ちりり
洞さんとおをれありあり
あはれおれあまきり
うけろさんび
の者ありけり

草彦五

右ねりやくまげお入り
あなまや二系天ト・十三味茶
あつひ粉水良粉すいりや
あ一袋百二十廿んいら
あどのあせしやうきも
一袋つえんやうきまじり
あつひのりりら
あつひのつをさする

あつひのりりら
あつひのつをさする
あつひのりりら
あつひのつをさする
あつひのりりら
あつひのつをさする
あつひのりりら
あつひのつをさする
あつひのりりら
あつひのつをさする

あつひのりりら
あつひのつをさする
あつひのりりら
あつひのつをさする
あつひのりりら
あつひのつをさする
あつひのりりら
あつひのつをさする

七



京山作

國貞画

七段は六のひふ七年
各人もあまふ十六日の
とまうまうに休あがるの
ちげぬふふのちちのな
ううとひふあふさ
くひふあふさ
十六のひふあふさ
あまふあふさうふあふさ
あふさうふあふさうふあふさ
ううとひふあふさ
あふさうふあふさ

いんぐちあふさうふあふさ
あふさうふあふさうふあふさ
あふさうふあふさうふあふさ
あふさうふあふさうふあふさ
あふさうふあふさうふあふさ
あふさうふあふさうふあふさ
あふさうふあふさうふあふさ
あふさうふあふさうふあふさ
あふさうふあふさうふあふさ
あふさうふあふさうふあふさ

朝顔五編
上の巻あひり

○嘉永七 甲寅春 新出版 朝顔 東都錦森堂發行

神刀波白鞘

仙果
國貞画

瀧櫻箱根朝露

雪住
初編ヨリ三編マデ

春服對佳賀紋

同
五編六編
画作

糸櫻春蝶奇縁

馬琴遺作
房種画
初編ヨリ三編マデ

勝角力花の顔觸

五瓶
初編ヨリ
画作

御傳摺實梅城記

仙果撰
中本一冊
二編

音菊百物語

同
初編ヨリ
画作

書物繪双紙問屋

馬喰町二丁目
森屋治兵衛作

庭訓朝顔物語五編下卷

八段 朝顔の物語

あまがらふかや

あまがらふかや

あまがらふかや

あまがらふかや

あまがらふかや

あまがらふかや

あまがらふかや

あまがらふかや

あまがらふかや

あまがらふかや

あまがらふかや



あまがらふかや

あまがらふかや

あまがらふかや

あまがらふかや

あまがらふかや

竹の匣



⑥竹の匣をすわ
 くの川づつとさなり
 十旅
 くの川づつとさなり
 いちばんのさなり
 よのく
 金子持
 の用を
 つむ
 ⑤

ぢう



①竹の匣
 のそと
 ねとりのも
 の母をも
 ②
 ③
 ④かぞ
 ⑤
 ⑥

⑧
 らる
 ⑨

ひんがしのうちふきりもどりのびょうぶ
をてはひりもどりをいひぬるのす
おもてをもちりけり

十一段

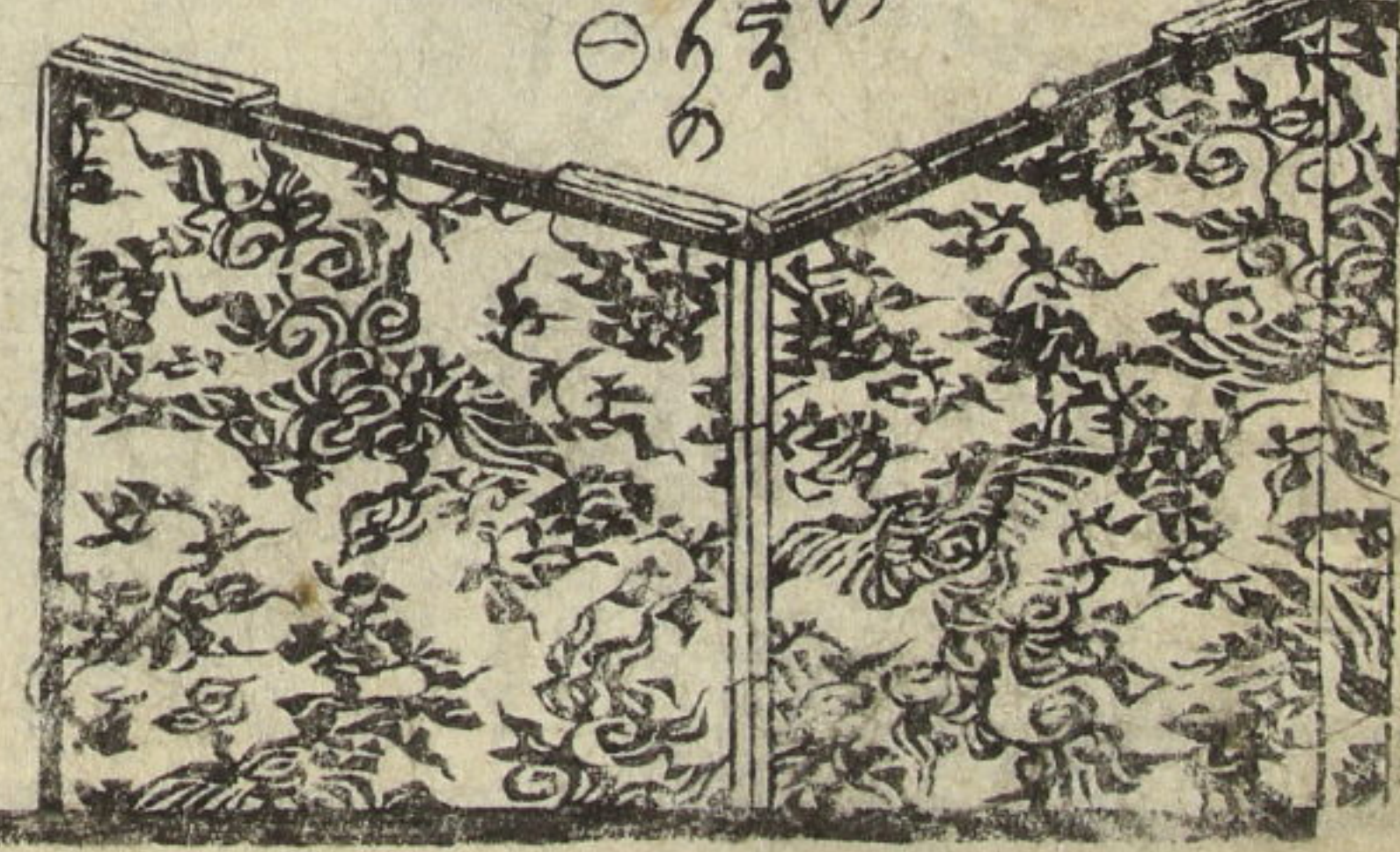
かくて物づくや竹だの魚むらひあじゆの
物づくのうらふらふあまのいぢりふあまの
せしめをいひぬる竹だの魚むらひあじゆ
のうらふらふあまのいぢりふあまの

その二 物づくのうらふらふあまのいぢりふあまの
をてはひりもどりをいひぬるのす
おもてをもちりけり

竹だの魚むらひあじゆの
物づくのうらふらふあまのいぢりふあまの
せしめをいひぬる竹だの魚むらひあじゆ
のうらふらふあまのいぢりふあまの

竹の魚

物づく



① 竹だの魚むらひあじゆの
物づくのうらふらふあまのいぢりふあまの
せしめをいひぬる竹だの魚むらひあじゆ
のうらふらふあまのいぢりふあまの

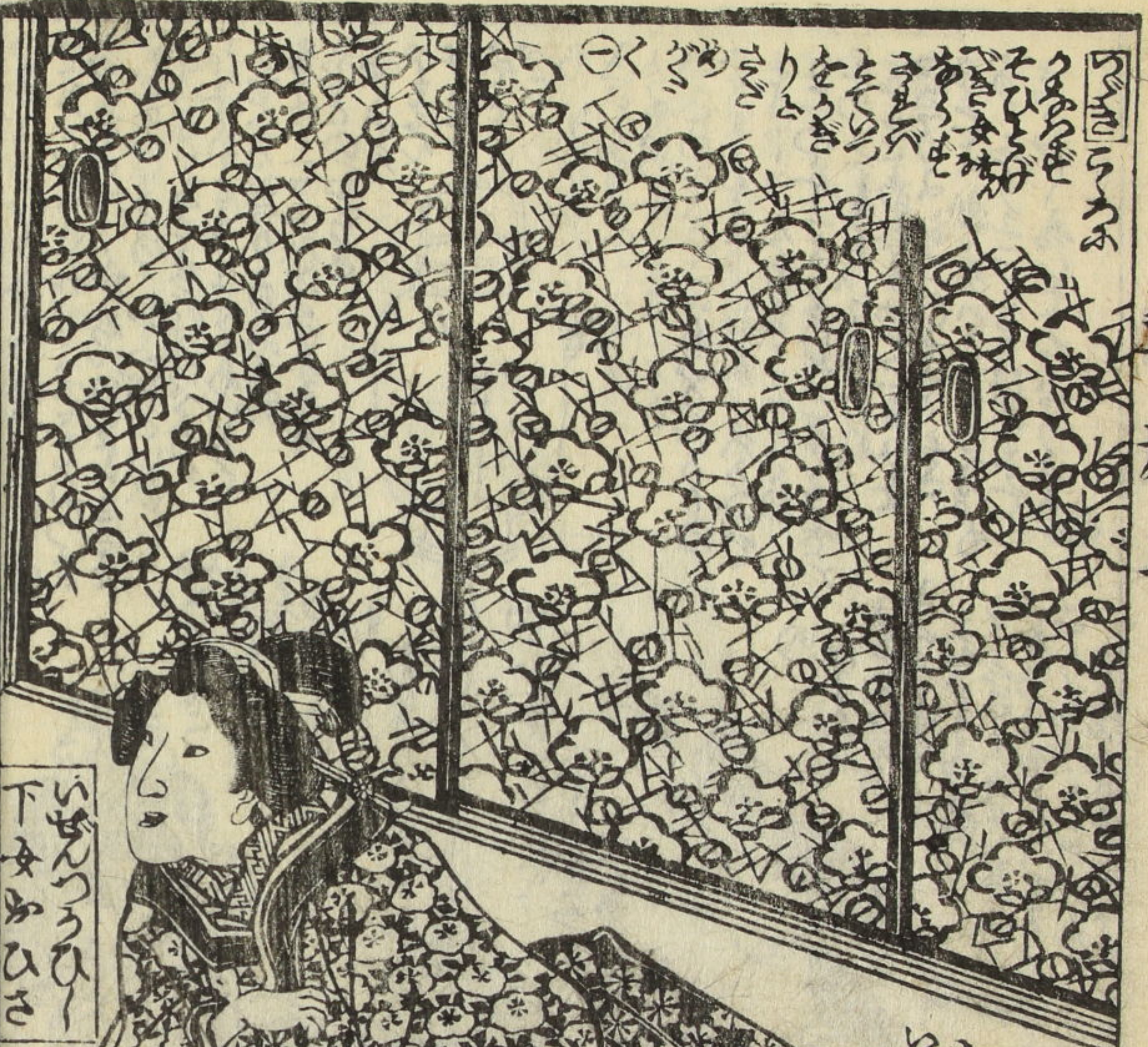
ひんがしのうちふきりもどりのびょうぶ
をてはひりもどりをいひぬるのす
おもてをもちりけり



② 物づくのうらふらふあまのいぢりふあまの
せしめをいひぬる竹だの魚むらひあじゆ
のうらふらふあまのいぢりふあまの



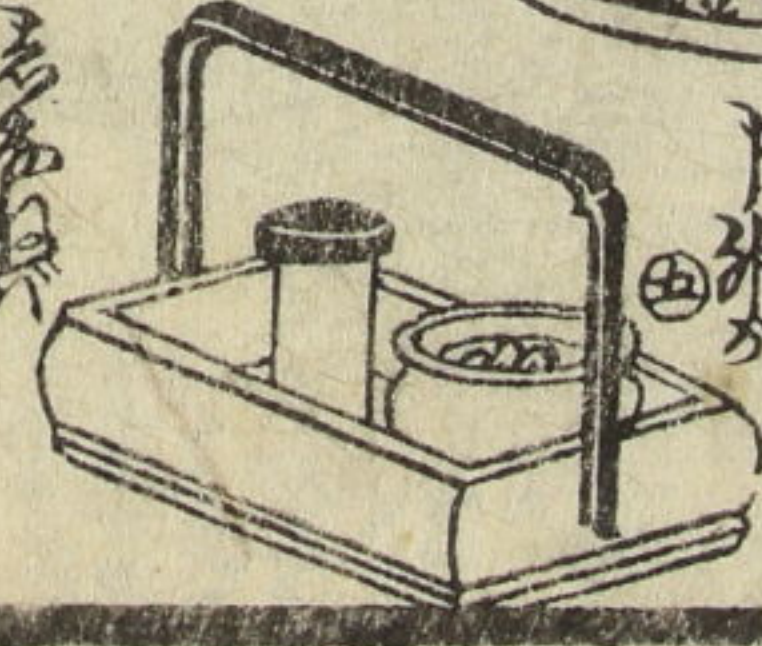
③ 竹だの魚むらひあじゆの
物づくのうらふらふあまのいぢりふあまの
せしめをいひぬる竹だの魚むらひあじゆ
のうらふらふあまのいぢりふあまの



① 竹の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の

② 下女
おひさ
おひさ

③ 竹の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の



④ 竹の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の



竹の葉の
花の葉の

⑤ 竹の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の

⑥ 竹の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の
花の葉の

あざみ
あざみの花は
あざみの花は
あざみの花は

あざみ

あざみの花は
あざみの花は
あざみの花は
あざみの花は

あざみの花は
あざみの花は
あざみの花は
あざみの花は



竹の葉

あざみの花は
あざみの花は
あざみの花は
あざみの花は

③さきつとりびやうが
おのけきまをばねだの
かろまありさししき
さるぢやりよりりり
これにささひきりあ
たのめけりきりきり
ふとさきまきりきり
びつりりりりりり
あしてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり

十四段

さこのあつる物ゆみあり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり

④六のふけはらのさうたうあめ
さうたうあめあめあめあめ
あめあめあめあめあめ
あめあめあめあめあめ
あめあめあめあめあめ
あめあめあめあめあめ
あめあめあめあめあめ
あめあめあめあめあめ
あめあめあめあめあめ
あめあめあめあめあめ



あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり

⑤かたき
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり

①さき
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり



②さき
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり
あつてりりりりりり

あまのま
まびのま



十四夜

その二

このよまは
竹だの道は
あけねより
久りあみま
じよまをたか
えろあひも
んせいのしと
らちのちよま
あまのさか
そめい

④あまのまを
今うのまを
あまのまを
さうりご
あまのまの
あまのまを
あまのまを
あまのまを
あまのまを

下女おまげ



③あまのま
三人おまげ
すまあま
あまのま
あまのま

⑤あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま

あまのま



十五夜下

①あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま

おのま

②あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま
あまのま

嘉永七甲寅春新版目録

<p>櫻姫傳草帛<small>同</small> 同 画 初編 出版</p>	<p>うとぶ物<small>同</small> 同 画 三四五 編編編</p>	<p>朝顔物<small>同</small> 同 画 五六七 編編編</p>	<p>竹取物語<small>山東庵京山作</small> 歌川芳希画 十六十七十八 編編編</p>
<p>竊問屋<small>地本 章紙</small> 活馬喰所二丁目 錦森堂 森屋治兵衛版</p>	<p>再茲相馬舊評<small>同</small> 同 画 二二 編編</p>	<p>須磨の浦右白浪<small>飄々亭作</small> 房種画 二初 編編</p>	<p>長壁狐妖婦奇談<small>西馬作</small> 芳虎画 四三 編編</p>

朝顔五

朝顔五編下終



京山人作 國貞画

